

アフリカの母子保健に携わる 行政官・医療従事者9名が滋賀県を訪問

「妊産婦の死亡率の減少」と「新生児死亡率、乳幼児死亡率の減少」は開発途上国、特にサハラ砂漠以南アフリカでは依然として深刻な問題です。持続可能な開発目標（SDGs）の目標3でも母子保健の改善を挙げており、JICAとしても重点支援分野の一つとして改善に向けた協力に取り組んでいます。

JICA 東京で実施される課題別研修「アフリカ仏語圏地域女性と子どもの健康改善」は、「すべての人々が、基本的な保健医療サービスを、負担可能な費用で利用できること」すなわちユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を実現するために、アフリカ仏語圏諸国の研修員9名が日本の経験を学び、他国の参加者と経験を共有しながら、自国で実現可能な活動を明確にすることを目的としています。

今年度は以下の日程で、滋賀県における母子保健政策への取り組みや、医療機関と行政機関が保健と保健以外の分野で連携する例として防災と保健・福祉の連携促進「滋賀モデル」の取り組みを学びます。

【スケジュール】※全行程通訳が同行します。是非取材をご検討ください。

| 日付 | 時間 | 場所 | プログラム |
|---------------|-----------------|---------------|---|
| 12月13日 (水) | 13:00- 17:00 | 滋賀県庁 | 副知事表敬訪問・【講義】滋賀県の母子保健・周産期医療、防災と保健・福祉の連携促進「滋賀モデル」 |
| 12月14日 (木) | 10:00- 12:00 | オリーブ栗東保育園 | 保健福祉施設と行政機関の連携 |
| | 13:30- 16:00 | 野洲市健康福祉センター | 野洲市健康福祉部長表敬訪問、乳幼児健診見学、【講義】野洲市母子保健事業 |
| 12月15日 (金) | 10:00- 12:00 | 滋賀医科大学医学部附属病院 | 【講義】滋賀県の周産期医療 【見学】母体胎児集中治療室と新生児集中治療室 |
| | 13:30- 16:00 | 滋賀県庁 | 【講義】まとめ・振り返り・理事表敬 |

【研修概要】

研修コース名：アフリカ仏語圏地域 女性と子どもの健康改善

研修期間：2023年12月5日(火)～12月22日(金)

実施機関：国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

参加国：カメルーン、ガボン、コートジボワール、コンゴ民主共和国、ジブチ、セネガル、ブルンジ、ベナン

【取材いただける場合のお願い】

- ・保健医療施設で取材いただくことがありましたら一般市民の撮影には事前にご本人（未成年者の場合は保護者）の了解を取っていただくようご配慮をお願いいたします。
- ・病院で取材いただけることがありました際には一般患者の写真・動画を撮影することはお控えください。

【問い合わせ先】 ※取材をご検討の際には、12月11日(月)までに一報いただければ幸いです。

【本件に関する取材申込先】

JICA 東京センター 人間開発・計画調整課 中野 勉／小川 美都子
TEL : 03-3485-7079
e-mail : Nakano.Tsutomu@jica.go.jp
Ogawa.Mitsuko@jica.go.jp